※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１４

令和８年度　学校設定教科　教養

教科	（学）教養	科目	（学）マイステップ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書							
副教材	学校独自プリント　等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、進路実現のための学力を身につけるよう努力しましょう。
・義務教育段階の内容について、学びなおし、個別最適化学習で定着を図ります。
・学びなおしについて、ノートにまとめながら進めるため、ノートの用意をしてください。
・授業のポイントや、気づいたことをノートにメモをしながら取り組みましょう。
・学習を通して、自分自身の将来や進路について考えていきましょう。

2　学習の到達目標

・基礎学力を獲得することの意義や価値を理解し、義務教育段階の内容の知識・技能を身につける。
・自らの学力について分析し、苦手分野の理解を深めるとともに、知識を活用して思考する問いを学ぶことで、深い学びへとつなげる。
・主体的に自己の学習を進め、自らの課題を解決するために粘り強く学びに取り組む態度を養う。
・学習を通して、自分自身の進路について考察し、将来設計をする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	国語、数学、英語に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、工業の科目や、各科目の学びを進める上で必要となる知識及び技能に活用できる程度に概念を理解している。また、学習の過程において、知識を習得する一連の流れを学びの手法として得る。学習を通して、自己の将来設計の意義ついて理解し、進路実現にむけて基本的な知識を理解する。	国語・数学・英語の知識を活用して思考する問やワークを行うなかで、自ら考え、アウトプットする力を習得するなどして課題を解決する力を身につけている。グループ活動や発表の体験を活用し、チームで検討して他者にプレゼンテーションする。 一連の流れの中で思考力・判断力・表現力が個人内到達度として、どのような変化をしているか、その変化量を測り、改善策を考える。	個別最適化学習を行う中で、知識を獲得することに対して主体的かつ粘り強く、試行錯誤しながら学びを進めている。またその試行錯誤の結果として、自己調整しながら学習を進める力が身につけている。さらに、自らの取り組みや学習の姿勢を振り返って改善策を見つけ意欲的に活動し、グループ活動に積極的に参加している。学習を通し進路実現に向けて、具体的に将来について考える。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、文章による評価によって、その成果を測る。個人内到達度による評価や個別最適化学習を行う特性上数字による評価は行わない。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	学びなおしと将来設計①	国語・数学・英語の3教科の学習内容について、単元テスト等の結果から苦手分野や学ぶべき内容を抽出し、個別最適化学習を行う。 学習を通して、振り返りを行い、自身の将来設計について考える。	a. 基礎的・基本的な知識を身につけ、学力の定着のための学びの手法を体得する。 自身の将来設計の意義を理解する。 b. 基礎的な知識を活用して思考する問やアウトプット活動において思考・判断し、表現できる。 グループ活動を通して、自身の将来設計を深める。 c. 主体的かつ粘り強く、試行錯誤しながら学びを進めることができる。 自身の将来設計について積極的に考察している。	単元テスト 小テスト 課題提出	単元テスト 小テスト 課題提出 アウトプット活動	アウトプット活動 グループ活動 振り返りシート
二学期	学びなおしと将来設計②	国語・数学・英語の3教科の学習内容について、単元テスト等の結果から苦手分野や学ぶべき内容を抽出し、個別最適化学習を行う。 学習改善をしていく中で、自身の将来設計について考察を深める。	a. 基礎的・基本的な知識を身につけ、学力の定着のための学びの手法を体得する。 自身の将来設計の意義を理解する。 b. 基礎的な知識を活用して思考する問やアウトプット活動において思考・判断し、表現できる。 グループ活動を通して、自身の将来設計を深める。 c. 主体的かつ粘り強く、試行錯誤しながら学びを進めることができる。 自身の将来設計について積極的に考察している。	単元テスト 小テスト 課題提出	単元テスト 小テスト 課題提出 アウトプット活動	アウトプット活動 グループ活動 振り返りシート
三学期	学びなおしと将来設計③	国語・数学・英語の3教科の学習内容について、単元テスト等の結果から苦手分野や学ぶべき内容を抽出し、個別最適化学習を行う。学習改善をしていく中で、自身の将来設計について1年間をまとめる。	a. 基礎的・基本的な知識を身につけ、学力の定着のための学びの手法を体得する。 自身の将来設計の意義を理解する。 b. 基礎的な知識を活用して思考する問やアウトプット活動において思考・判断し、表現できる。 グループ活動を通して、自身の将来設計を深める。 c. 主体的かつ粘り強く、試行錯誤しながら学びを進めることができる。 自身の将来設計について積極的に考察している。	単元テスト 小テスト 課題提出	単元テスト 小テスト 課題提出 アウトプット活動	アウトプット活動 グループ活動 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度